

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
伊勢崎市	宮郷地区	令和3年3月31日	令和6年3月19日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	335.5ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	215.4ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計(法人の耕作地は含まない)	65.9ha
i うち後継者がいない農業者の耕作面積の合計	25.2ha
ii うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	26.8ha
iii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	3.1ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	14.3ha
(備考)	

2 対象地区の課題

・地区内の現状として、70歳以上の農業者の耕作面積は、65.9haあり、うち後継者がいない、もしくは未定の耕作面積は52.0haとなっている。今後、地域の中心経営体が引き受ける意向の耕作面積は14.3haとなっているが、新たな担い手の確保が必要である。 集落営農法人が多い地区のため、水田利用の集約化は進んでいるが、畑作利用の集約化の検討が必要である。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

中心経営体で規模拡大を予定している集落営農法人や認定農業者へ農地の集積をするとともに、新規就農者等の担い手の確保を促進する。
--

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

・人・農地地区座談会等の情報交換の場を定期的を開催し、借り手情報や現状の課題・今後の方針等について情報共有を行う。 ・規模拡大を検討する認定農業者や集落営農法人、新規就農者に対し、農地中間管理機構の利用を推進し、農地の集約を進める。
